

ふれあい中須10月号

2025年
(令和7年)



中須の人口

前月比

男 257人 (+1人)
 女 289人 (+1人)
 総人口 546人 (+2人)
 世帯数 319世帯(+2世帯)
 高齢化率 63.0%
 (8月31日現在)

10
神無月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 やまびこ号 13:30~
5	6	7	8	9	10	11
12	13 スポーツの日	14	15	16	17	18
19 中須地区 市民運動会 9:00~	20	21 やまびこ号 13:30~	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



9/13中須地区敬老会開催



ハイネーズ二胡楽団による二胡の演奏



須々万中学校生徒、沼城小学校児童によるお祝いの言葉



中須駐在所による夜間外出時の注意喚起

9月13日(土)『中須地区敬老会』が開催されました。

今年中須地区では4名の方が米寿を迎えられ、100歳以上の方も同じく4名となりました。皆様おめでとうございます。

今年は土曜日の開催となったため、昨年は来ることができなかった須々万中学校生徒や中須小学校児童が来てくださり、子供たちからの暖かい言葉に会場は幸せな空気に包まれました。

第2部の茶話会では、まず中須駐在所長による交通安全の講話があり、夜間外出時の反射タスキの重要性が伝えられました。その後、ハイネーズ二胡楽団による二胡の演奏、説明、お口の体操が行われ、みんなで一緒に音楽を楽しみました。締めには須金の梨ぶどうセットなどが当たるビンゴ大会が行われ、最後まで大盛り上がり敬老会となりました。

開催に携わった皆様、お疲れさまでした。



ビンゴ大会も開催！

9/19 沼城小学校児童中須地区見学



沼城小学校の児童が10月18日に行われるふれあいバザーに向けて、中須地区を見学に来ました。

子供たちはバザーで中須の食材を使った、炊き込みご飯と、中須地区を紹介するスライドを作る予定となっています。

はぜかけ体験や住民の方へのインタビューなどを通して、お米や中須地区への理解を深め、バザーに向けていい準備ができたのではないのでしょうか。

揉山フォトコンテスト作品展示中



中須市民センターに中須地区御田頭祭揉山フォトコンテストの応募作品を展示しております。

日頃見ている揉山とはまた違って、一瞬を切り取る写真ならではの良さを感じることでできるコンテストとなっています。

授賞式は11月8日の中須ふれあいフェスタで行う予定となっていますが、一足先に市民センターに見に来てみてください。お待ちしております。

10・11月の行事予定

月日	内容	場所	備考
10月4日(土) 10月21日(火) 11月7日(金) 11月22日(土)	移動図書館 やまびこ号	中須市民センター 駐車場	13:30 ~14:00
10月19日(日)	中須地区 市民運動会	中須地区 総合運動場	体育振興会
11月8日(土) 9日(日)	中須ふれあい フェスタ	中須地区 総合運動場	10:00~ 15:00

今月のひとこま

中須市民センターの花壇が、中須をよりよくする会の花壇整備部会の方々ののおかげで今年もとてもきれいに咲いています。今回の写真は、市民センター花壇に咲いているジニアという花です。2枚ともジニアなのですが、形が全然違います。ジニアには様々な咲きかたの種類があるようで、この2種類のほかにも色々な形があるそうです。市民センターの花壇では現在のほかにも、千日紅、

マリーゴールド、コキアなどが楽しめますので、是非見に来てみてください。



第64回中須地区市民運動会開催します!

第64回中須地区
市民運動会



日時: 10月19日(日)
午前9:00~



(雨天中止)※10月18日に事前清掃実施
会場: 中須地区総合運動場

主催: 中須地区体育振興会

戻路杖踊り

～一子相伝の秘伝の棒術～

特集

伝統 芸能



↑昭和60年に行われた徳山市制50周年記念行事

ふるさと伝統芸能大会で披露された様子

由来

1567年8月、美濃（現在の岐阜県）国主斎藤龍興が織田信長に攻め滅ぼされた際、家臣墨川三助は落武者となり周防国中須戻路へ逃れた。剃髪して釈明圓と改名し、1570年に教法寺を創建、開基住職となった。そして戻路の人々に自衛手段として、兵法武芸十八般の内、棒術の流れを汲むものを伝えたのが杖踊りの始まりと伝えられている。
代々一家の長男にのみ伝えられた秘伝とされ、稽古は見張りを置いて行われるなど秘密主義に徹し、そのため記録が残されていない。以後八朔祭りに踊り継がれたが、戦争により中断し、伝承は一時途絶えた。

踊りの復元と伝承活動

昭和59年当時、戻路地区では3年前に集会所ができたことをきっかけに、杖踊り再興の声が上ががり、集落ぐるみで保存活動が始まった。踊りの経験者と中須をよりよくする会が中心となり約40年ぶりの復興に向け、その年の6月から活動が始まった。

記録が残されておらず踊りの復元は困難であったが、尽力の末にかつて四十八手あった打ち合いのうちの五手を復元することができた。（返し打ち、花車、四方固め、八相打ち、通りごらん）

また、囃子の復元は、元中須小学校の音楽教諭が協力し、かつて笛を吹いていた方にハ―モニカを吹いてもらい（笛が吹けなくなっていたため）、それを笛の音階に直し譜面に起こし復元した。

さらに、踊りをどう継承するか協議を重ねた結果、中須中学校協力のもと生徒に継承していくこととなった。そして、昭和60年のふるさと伝統芸能大会で大勢のお客さんの前で披露し、杖踊りは復活を遂げた。中須中学校が休校となり、現在では杖踊り保存会によって須々万中学校や沼城小学校で継承されており、中学校の文化祭や中須ふれあいフェスタで披露されている。杖踊りの伝承活動に携わりたい方がいらっしゃいましたら、中須市民センターにご連絡ください。



↑設立頃の保存会



↑昨年の様子



↑中学校集合写真（昭和60年頃）



↑設立頃の練習風景

伝統芸能「戻路杖踊り」
かつては、長男のみに伝えられ秘伝とされていた中須地区の伝統芸能「戻路杖踊り」樫の木の高端に飾りヒゴをつけた棒で力強く打ち合う勇壮な踊りです。

現在は、戻路杖踊り保存会の皆さんの活動により、須々万中学校の生徒や沼城小学校の児童の皆さんに継承がされています。今年も10月に行われる須々万中学校の文化祭や、中須ふれあいフェスタで披露される予定のこちらの伝統芸能を、市民センターの所蔵する資料に基づいて、改めてお伝えしたいと思えます。